

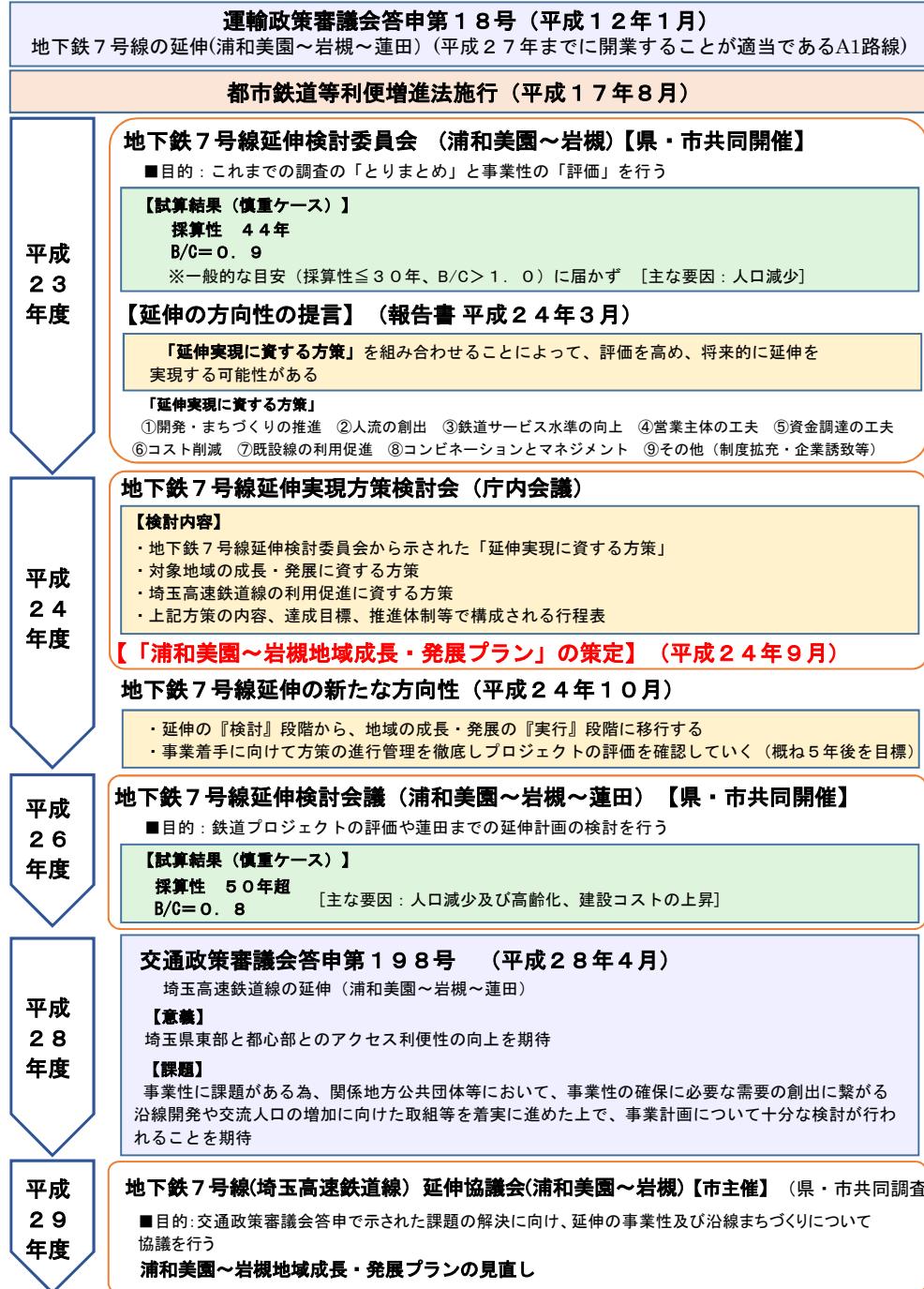
## 2. まちづくり分科会の報告について

### 内 容

- ①これまでの経緯と(仮称)さいたま市東部地域まちづくり計画(基本計画、行動計画)の概要について
- ②－1基本計画について(概要)
- ②－2基本計画について(概要)
- ③行動計画について(概要)
- ④まちづくりの行程イメージ
- ⑤浦和美園駅周辺地区のまちづくりについて
- ⑥岩槻駅周辺地区のまちづくりについて
- ⑦中間駅周辺地区、延伸線全体のまちづくりについて
- ⑧中間駅周辺地区のまちづくり選提案について
- 【参考】中間駅周辺地区のまちづくりケーススタディについて

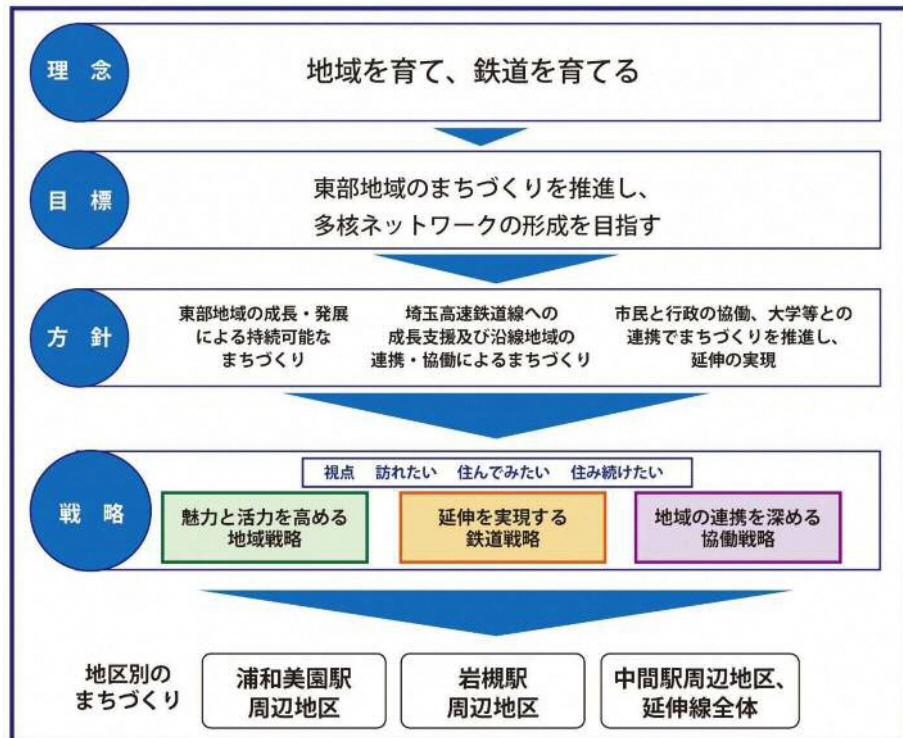
# ①これまでの経緯と(仮称)さいたま市東部地域まちづくり計画(基本計画、行動計画)の概要について

## 1. これまでの経緯



## 2. 基本計画、行動計画の概要

### 基本計画



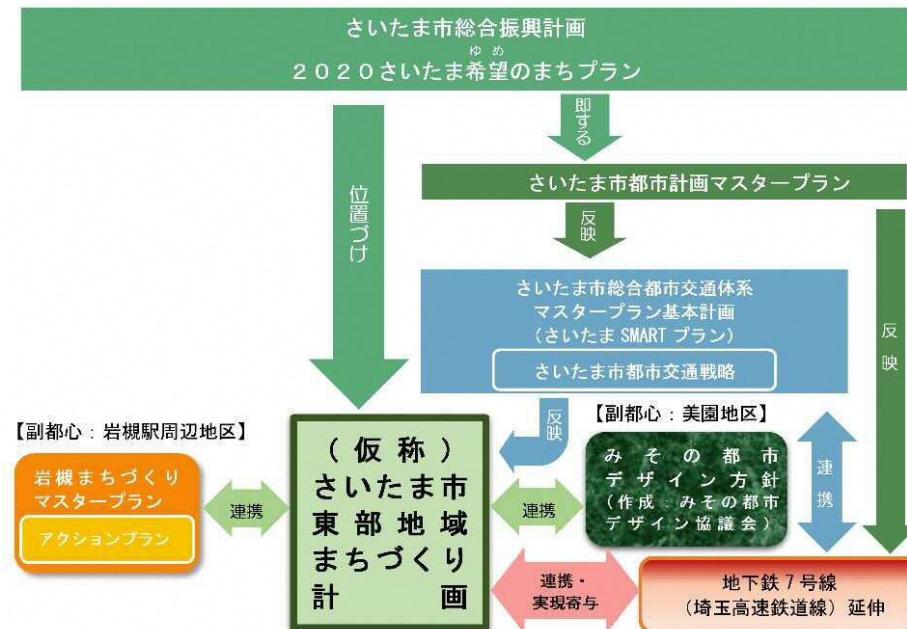
### 行動計画



## ②-1 基本計画について(概要)

### 1. 計画の位置づけ

(仮称)さいたま市東部地域まちづくり計画(以下「本計画」という。)は、2020さいたま希望のまちプラン(総合振興計画後期基本計画)により位置づけられ、みその都市デザイン方針や岩槻まちづくりマスターplanと連携して推進する計画である。



### 2. 計画の対象範囲

本計画の対象となる東部地域は、下図のとおり副都心である美園地区と岩槻駅周辺地区の周辺とそれらを結ぶ地域である。



### 3. 計画の目的

本計画は地域の魅力を高め、定住・交流人口を増加させ、同地域に計画されている地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸・事業の評価向上させ、コンパクトシティ+ネットワークを実現し、持続可能なまちづくりを目指すための計画である。

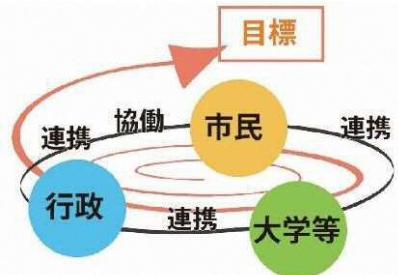
また、人口減少に対応したまちづくりの効果を市全体に波及させることにより相乗効果が生まれ、均衡ある成長により市全体の価値を高め、東日本の中枢都市を目指すことを目標としている。

### 4. 計画の進め方

本計画を進める上で、まず市民と行政(自治体)が連携・協働し、まちづくりを推進することが、既設線へも好影響をもたらし、延伸事業への評価を向上させ、鉄道事業者による延伸へとつながることの共通認識を図る。

目標の達成に向けては、地域社会を構成する市民(市民組織、企業、NPO等の各種団体など)をはじめとしたすべての関係者と行政の相互理解のもと、それぞれの役割と責任を担い目標実現に向けて参加・連携・協働により推進する。

また、国・県・沿線自治体や鉄道事業者と連携し推進する。



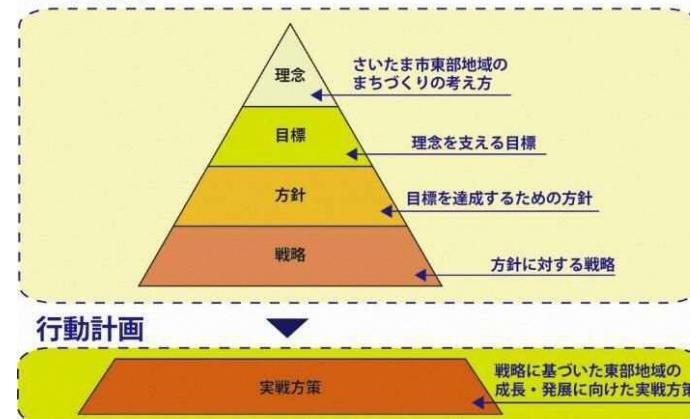
### 5. 計画の構成

本計画は、長期的視点に立って東部地域の持続可能なまちづくりを目指し、まちづくりの理念や目標、戦略等を示した『基本計画』と、基本計画において示された戦略等に基づき、東部地域の成長・発展に向けた実戦方策をまとめた『行動計画』によって構成している。

基本計画においては、東部地域におけるまちづくりの考え方として理念を示し、その理念に基づきまちづくりを推進し、本市として達成すべき目標を定めている。

さらに、目標を達成するためのまちづくりの方針を設定し、その方針に対する戦略を定め東部地域の各地区においてまちづくりの実戦方策を展開する計画としている。

#### 基本計画



## ②-2 基本計画について(概要)

### 6. 東部地域の目指すまちの姿

#### 理念

##### 地域を育て、鉄道を育てる

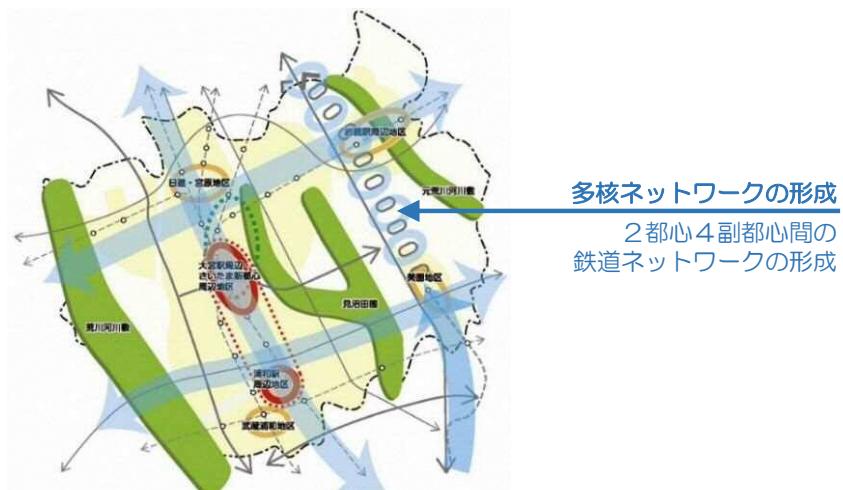
～ひと・まち・鉄道がつながるまちづくり～

鉄道の延伸はひとが暮らしやすいまちづくりのための一つの手段であり、市民、企業、行政等が連携・協働して東部地域のまちづくりを推進し鉄道ネットワークの形成を図る

#### 目標

##### 東部地域のまちづくりを推進し、 多核ネットワークの形成を目指す

東部地域のまちづくりを推進し、多核(2都心、4副都心)ネットワークの形成のため埼玉高速鉄道線の延伸を実現し、市全体の均衡ある発展により東日本の中枢都市を目指す



#### 方針

##### 1. 東部地域の成長・発展による持続可能なまちづくり

浦和美園駅周辺は新たなまちを創造し成長・発展を続けており、岩槻駅周辺は歴史・文化を育んできたまちであり、ふれあい・おもてなしのまちの創出が望まれる。この異なる個性あるまちの間に位置する中間駅周辺においては地域資源を活用したまちの創造を進める。それぞれのまちの成熟度を考慮し、持続可能なまちづくりを進める。

##### 2. 埼玉高速鉄道線への成長支援及び沿線地域の連携・協働によるまちづくり

関係自治体が連携し鉄道事業者への成長支援を行う。また、鉄道事業者、沿線地域の人々、関係自治体が連携・協働したまちづくりを進め、沿線地域の魅力向上を図る。

##### 3. 市民と行政の協働、大学等の連携でまちづくりを推進し、延伸の実現

すべての関係者が協働し、地域おこしをはじめとしたまちづくりを推進し、運動して鉄道の延伸を実現させる。大学や専門機関などの専門家からの知見を活かした助言なども参考にまちづくりを進める。

#### 戦略

東部地域へ「訪れたい」、「住んでみたい」、「住み続けたい」視点を基にまちづくり方針に対する戦略を構築する。

【訪れたい】誰もが地域の魅力や感動を覚えるまち

【住んでみたい】誰もが地域の文化や美しさに共感できるまち

【住み続けたい】誰もが安心・安全でふれあいのある地域社会の中で郷土愛と誇りが持てるまち

魅力と活力を高める  
地域戦略

延伸を実現する  
鉄道戦略

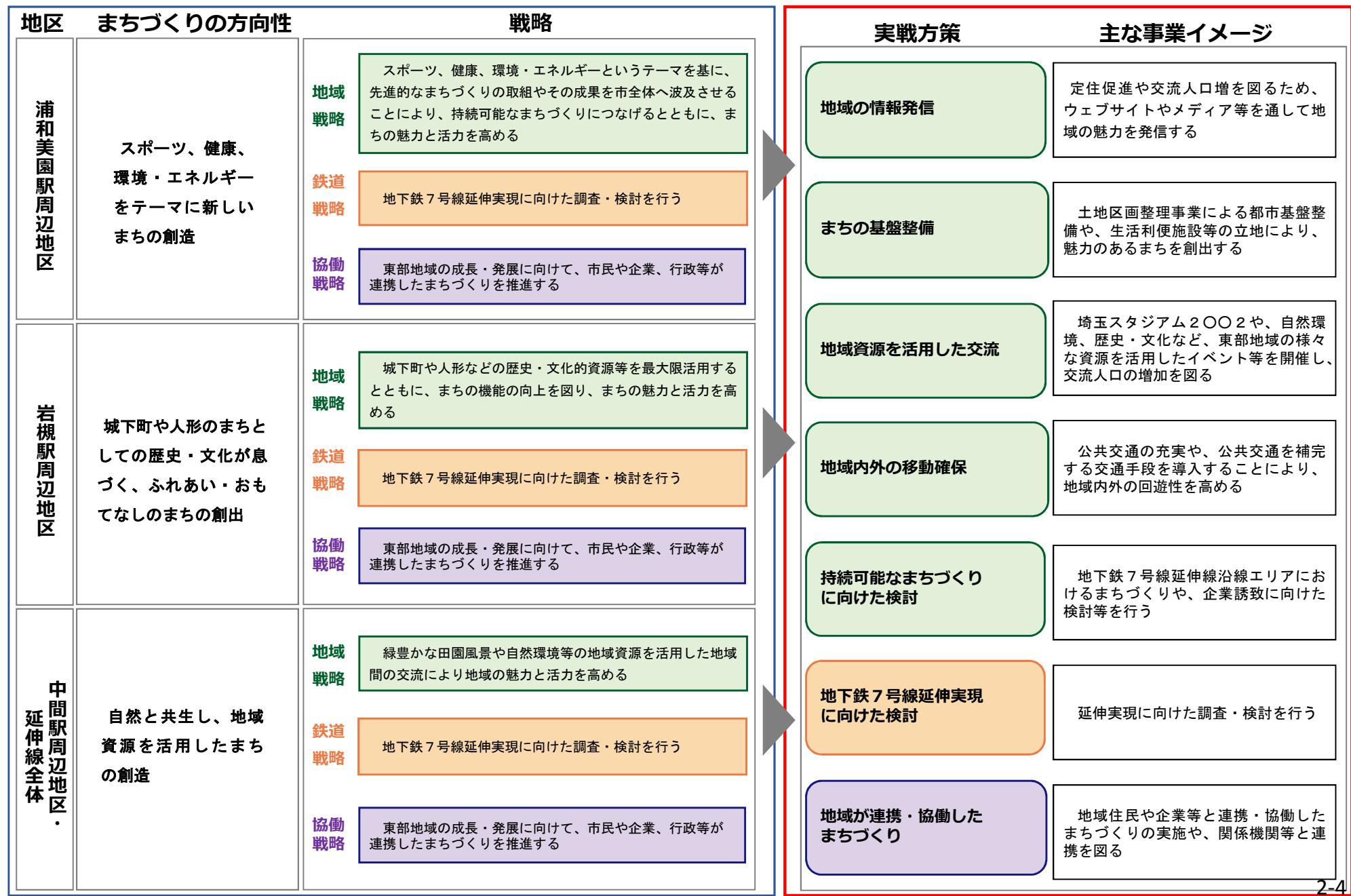
地域の連携を深める  
協働戦略

### ③行動計画について(概要)

基本計画において定めた戦略に基づき、東部地域の成長・発展に向けた各地区における戦略と、具体的にまちづくりを推進するための実戦方策を、7つのカテゴリーに再編成し定める。

#### 基本計画

#### 行動計画



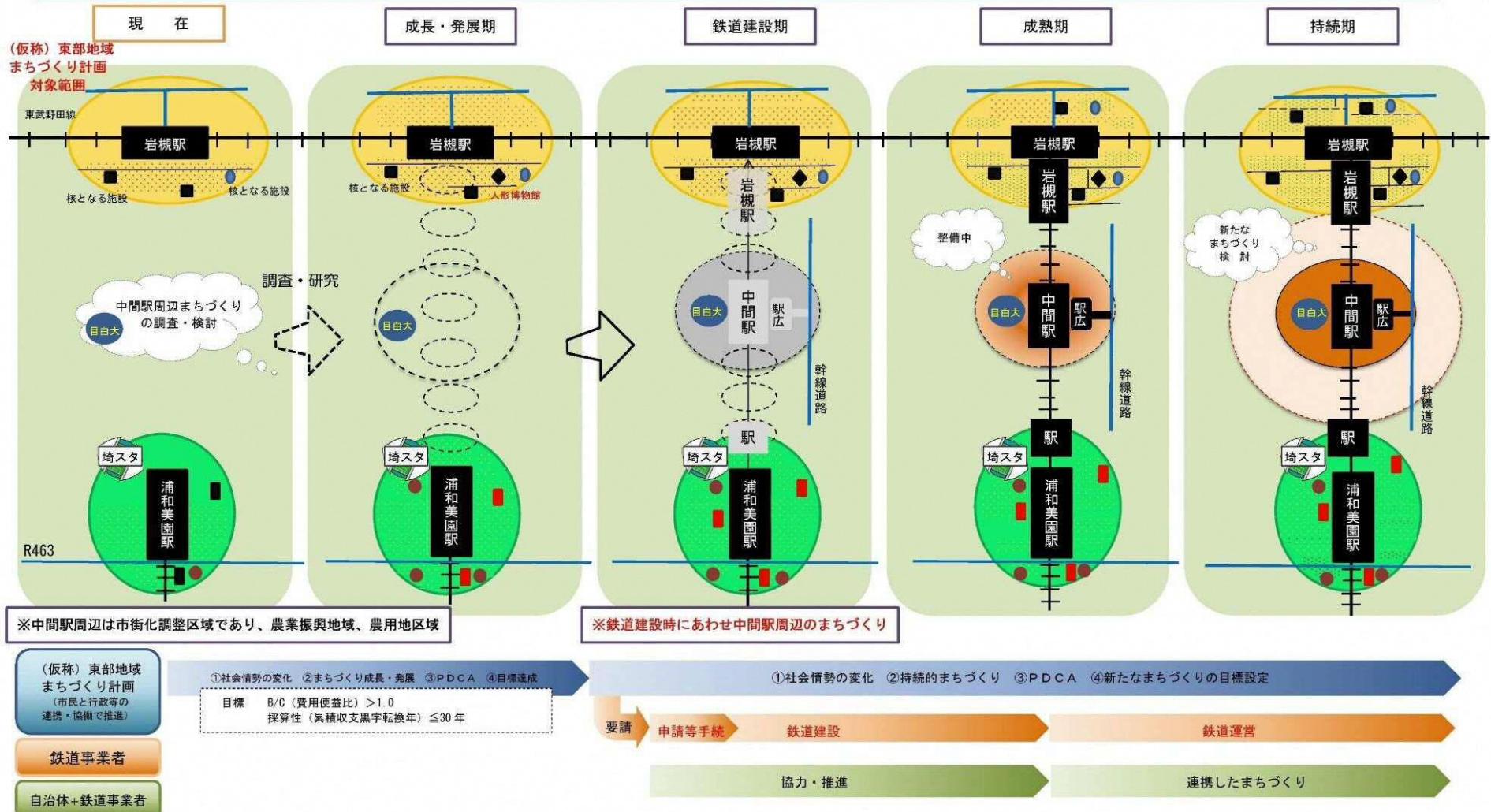
## ④まちづくりの行程イメージ

### 【東部地域のまちづくりのイメージの考え方】

- 鉄道は、まちづくりを進める一手段であり、まちの装置でもある。
- コンパクトシティ+ネットワークのまちづくりを目指す。
- 自治体は、コンパクトシティのまちづくりを推進する。
- 鉄道事業者によるネットワークの構築を目指す。
- 自治体と鉄道事業者で連携によるまちづくりを推進する。

### 【まちづくりの方向性】

- 浦和美園駅周辺地区：スポーツ、健康、環境・エネルギーをテーマに新しいまちの創造
- 岩槻駅周辺地区：城下町や人形のまちとしての歴史・文化が息づく、ふれあい・おもてなしのまちの創出
- 中間駅周辺地区：自然と共に生し、地域資源を活用したまちの創造



## ⑤浦和美園駅周辺地区のまちづくりについて

### ◎まちづくりの方向性: スポーツ、健康、環境・エネルギーをテーマに新しいまちの創造

#### ■実戦方策と主な計画

##### 地域の情報発信

###### ◎ウェブサイトによる浦和美園～岩槻地域の情報発信



ホームページ

###### ◎スマートホンアプリ「美園子育てスタイルBambi」での情報発信

・若い子育て世代をターゲットに「まちのお医者さん」、「子育て世帯向けイベント」などの情報を配信(美園タウンマネジメント協会実施)

##### 持続可能なまちづくりに向けた検討

###### ◎地下鉄7号線延伸線沿線エリアにおけるまちづくり方策の検討

###### ◎事業者ヒアリングの実施等

##### 地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

###### ◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討

###### ◎地下鉄7号線延伸に向けたまちづくり需要調査など

##### まちの基盤整備

###### ◎土地区画整理事業の推進

- ・4地区の土地区画整理事業を推進し、良好な市街地整備を行う
- ・浦和東部第一地区内の駅前保留地等の活用について地権者等と検討(浦和東部第一地区は平成32年までに概成)

###### ◎小中学校の整備

- ・小学校、中学校が平成31年度開校予定

###### ◎スマートホーム・コミュニティの普及

- ・平成31年度までに美園スマートホーム・コミュニティモデル街区に一戸建てが整備予定(平成30年度約40戸、平成31年度約50戸)



スマートホーム・コミュニティ(H28年度33戸完成)

##### 地域資源を活用した交流

###### ◎浦和美園まつり&花火大会



###### ◎日光御成道 美園 大門宿まつり



###### ◎埼玉スタジアム2002公園でのキッチンカーグルメ選手権



##### 地域内外の移動確保

###### ◎次世代(電動)バスの開発・実証事業

- ・東京2020大会に向けて、サッカー会場となる「埼玉スタジアム2002」とバスケット会場「さいたまスーパーアリーナ」を繋ぐ低炭素な拠点間輸送システム
- ・東京2020大会レガシー創出を目指す



###### ◎マルチモビリティシェア 全市へ波及



超小型モビリティ

シェアリングサイクル

##### 関連する主な計画

###### ○さいたま市総合振興計画 /次期実施計画(案)

・副都心の都市機能の向上、まちのブランド差別化を図るために、「公民+学」による総合生活支援サービスの提供等を進め、「美しい園」にふさわしい都市環境を形成することを明記(平成30年度策定予定)

###### ○みその都市デザイン方針

・個性と魅力が感じられる都市空間・都市環境の形成を進めるための地区共通の指針として、本地区が目指すべき都市デザインの方向性を明記(平成29年4月策定)



##### 地域が連携・協働したまちづくり

###### ◎河川、河川調節池の活用

- ・綾瀬川の歩行環境整備



綾瀬川将来イメージ

左:(出典)みその都市デザイン方針  
右:(出典)綾瀬川デザインワークショップ

###### ◎スタジアム参道の歩行空間の確保、景観誘導



スタジアム参道の将来イメージ  
(出典)みその都市デザイン方針

###### ・河川調節池の底面利用



河川調節池の底面利用イメージ  
(出典)綾瀬川デザインワークショップ

#### ■これまでのまちづくりの成果

##### ◎戸建住宅、大型マンション整備



91戸の戸建住宅  
(H29.6完成)

317戸のマンション  
(H30.4完成予定)

##### ◎公共施設整備



複合公共施設 (コミュニティセンター、図書館、支所等) (H28.1完成)  
UDCMi  
商業施設 (H29.3開業)

##### ◎生活必要施設の整備



銀 行 (H29.11完成)

認可保育所  
(地区内に6箇所開設)

##### 民間・市民団体等の取組



浦和美園まつり&花火大会  
(10月)



みそのいち  
都市デザイン

## ⑥岩槻駅周辺地区のまちづくりについて

◎まちづくりの方向性:城下町や人形のまちとしての歴史・文化が息づく、ふれあい・おもてなしのまちの創出

### ■実戦方策と主な計画

#### 地域の情報発信

- ◎モニターツアーの実施
  - ・岩槻のまちを体験し、魅力を感じてもらうため、モニターツアーの実施
  - ※モニター意見を参考に今後の賑わい方策を検討するとともに、モニターを通じて魅力発信
- ◎新たな観光情報誌の作成
  - ・ターゲット(女性や外国人等)に合わせた観光情報誌等の作成



#### まちの基盤整備

- ◎土地区画整理事業の推進
  - ・岩槻駅西口土地区画整理事業を推進中(2028年事業完了予定)
- ◎新たな施設等の整備
  - ・(仮称)岩槻人形博物館、(仮称)にぎわい交流館いわつき(2020.2開館予定)等の整備
- ◎岩槻歴史街道の整備
  - ・地元協議会が「裏小路まちなみづくりの指針」を作成(H29年度末作成予定)



#### 地域資源を活用した交流

- ◎歴史・文化的資源を活用したイベントの実施
  - ・長谷川家見世蔵(国登録有形文化財)等を活用し、論語教室、歴史散策事業等を実施



長谷川家見世蔵

#### 地域内外の移動確保

- ◎乗合タクシー、コミュニティバスの拡充検討
- ◎シェアサイクル等の拡充検討
  - ・民間企業によるシェアサイクルの実施(岩槻区で2箇所)



シェアサイクルイメージ  
(セブンイレブンニュースリリースより)

#### 関連する主な計画

- ◎さいたま市総合振興計画/次期実施計画(素案)
  - ・副都心としての岩槻地区の都市機能の強化を行うことを明記。(平成30年度から都市機能の強化に向けた取組の推進)
- ◎岩槻まちづくりマスターplan(平成24年11月策定)
  - ・「城下町の歴史・文化が息づくふれあいのまち」を地域が目指す姿とし、岩槻駅周辺地区的今後のまちづくりの目標、取り組みの方向性を示している。
- ◎岩槻まちづくりアクションプラン(平成30年度改定予定)
  - ・豊かな歴史・文化資源を生かした都市型観光に軸足を置いたまちづくりを推進する視点から、観光機能強化を推進している。
  - ・今年度、第2期プランへ改定中。(「観光案内サイン等の整備」など7事業を新規に追加予定。)

### 持続可能なまちづくりに向けた検討

- ◎まちの融合
  - ・駅舎完成により駅の東西が結ばれ、新旧の街並みや地域コミュニティの融合を図る
- ◎地下鉄7号線延伸線沿線エリアにおけるまちづくり方策の検討
- ◎土地活用の検討
  - ・岩槻駅西口土地区画整理地内の土地所有者を対象とした土地活用セミナーを実施




### ■これまでのまちづくりの成果 主なハード事業

4 岩槻駅舎 (H29.3完成)

5 岩槻駅西口駅前広場 (H29.3完成)

6 観光案内所 (H29.4オープン)

#### 歴史・文化資源やイベントの実施

国登録有形文化財	地域資源	イベント
5 大正館	6 岩槻郷土資料館	7 時の鐘
8 岩槻城址公園	9 岩槻鷹狩り行列	10 まちかど雑めぐり

## ⑦中間駅周辺地区、延伸線全体のまちづくりについて

### ◎まちづくりの方向性:自然と共生し、地域資源を活用したまちの創造

#### ■実戦方策

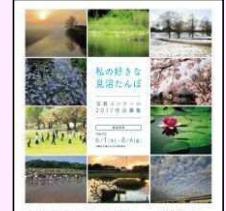
##### 地域の情報発信

- ◎ウェブサイトによる浦和美園～岩槻地域の情報発信



ホームページ

- ◎観光マップ(美園～見沼田んぼ)の発行  
(埼玉高速鉄道)



作品募集チラシ

##### まちの基盤整備

- ◎鉄道建設時に合わせて開発

- ・中間駅周辺のまちづくり選定案(3-6)参照

##### 地域資源を活用した交流

- ◎自然環境や農業等を活用したイベントの実施



さいたまマーチ  
見沼ツーデーウォーク



いわつきマルシェ in 目白大学



クリーンウォーク募集チラシ



みぬま秋フェス in さぎ山

##### 地域内外の移動確保

- ◎快速バスの運行



快速バス

(岩槻駅↔目白大学↔浦和美園駅)

##### 持続可能なまちづくりに向けた検討

- ◎今後の社会情勢等を注視し、段階的なまちづくりについて調査・検討

#### 地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

##### ◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討

##### 地域が連携・協働したまちづくり

###### ◎市民組織との連携

- ・さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会と連携し、延伸線全体のまちづくりを推進する

###### ◎目白大学との連携

- ・目白大学とさいたま市が包括連携協定を締結(平成28年10月)



目白大学  
ホームページより



(平成25年撮影、一部イメージ図)

#### ■主な地域資源



国指定 重要無形民俗文化財  
岩槻の古式土俵入り



国指定史跡 真福寺貝塚



見沼田んぼ



桜回廊

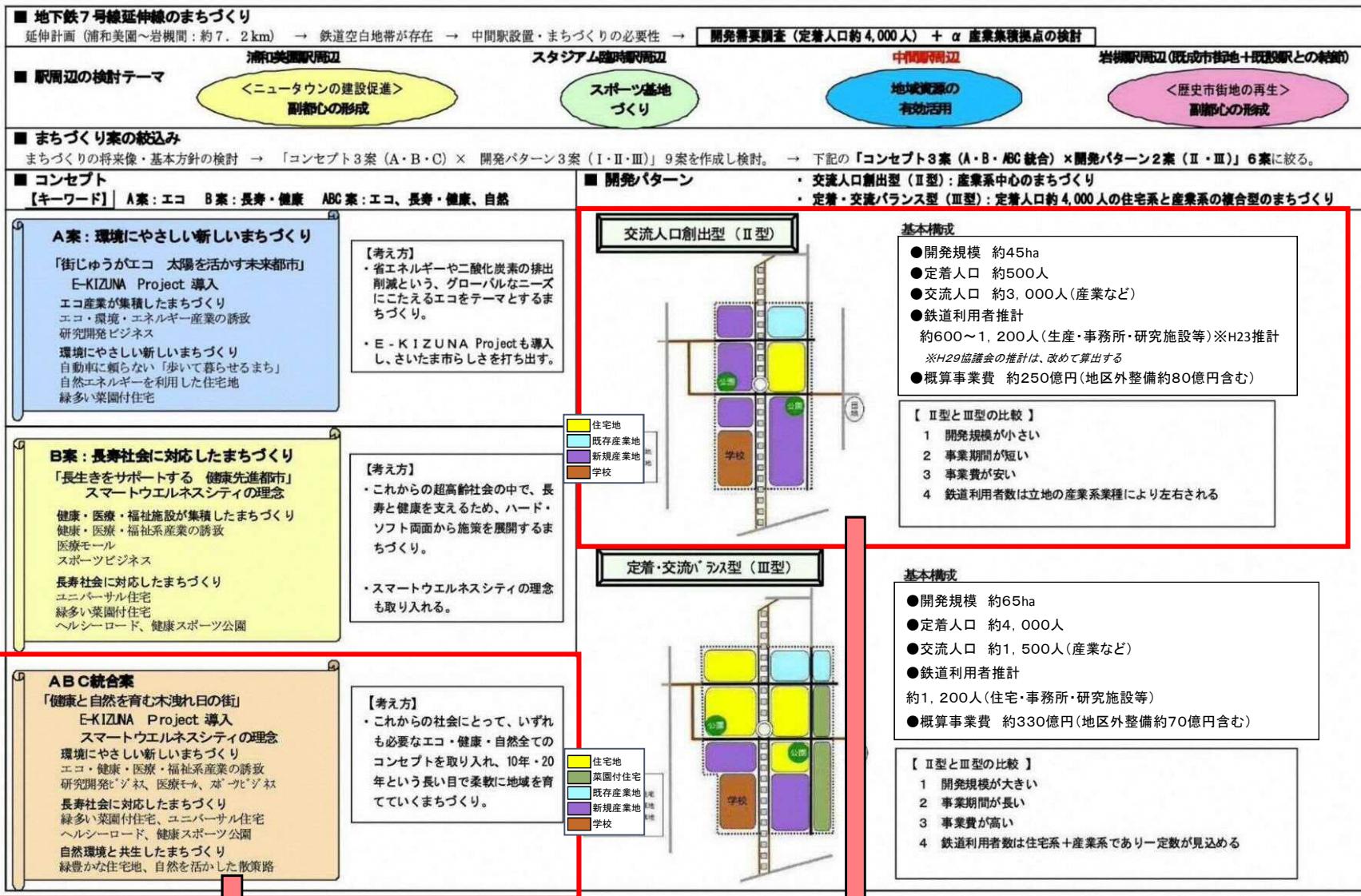


目白大学



目白大学クリニック

## ⑧中間駅周辺地区のまちづくり選定案について



選定案

コンセプト  
【ABC統合案】  
開発パターン  
【交流人口創出型（II型）】

# 中間駅周辺地区のまちづくりケーススタディについて

注)沿線の各大学と協議し作成した案ではない

参考

## 中間駅周辺地区のまちづくり(例)

### 【健幸・医療・福祉系産業の集積を実現する】

※ 健幸：一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むこと。  
(スマートウェルネスさいたまより)

## 東部地域の地域特性

### ●急激な人口増加と、人口減少、高齢化の進行

・浦和美園駅周辺地区は若い世代の定住が急速に進んでいる。一方、岩槻駅周辺地区は高齢化、人口減少が進行している。

### ●異なる特性を持った2つの副都心

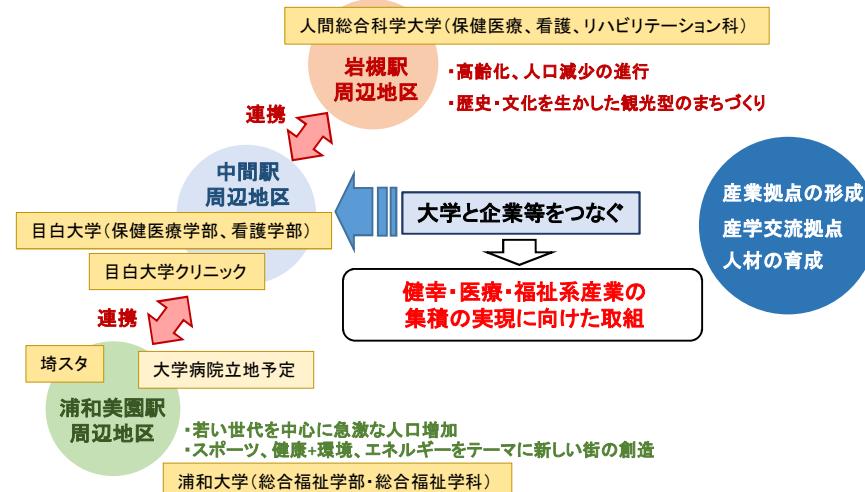
・浦和美園駅周辺地区は「スポーツ、健康+環境、エネルギー」をテーマに新しい街を創造しており、岩槻駅周辺地区は歴史・文化を生かした観光型まちづくりを推進している。

### ●医療施設、医療系大学が点在

・浦和美園駅周辺地区⇒大学附属病院が立地予定(周辺には浦和大学も立地)  
・岩槻駅周辺地区⇒人間総合科学大学岩槻キャンパスが立地  
・中間駅周辺地区⇒目白大学と目白大学クリニックが立地

## 中間駅周辺地区に求められるまちづくり

- 点在している医療施設、医療系大学を連携させ、新たな産業拠点を生み出す
- 企業・大学等が交流する拠点を形成する
- 持続的な成長・発展に向けた人材を育成する



## 沿線大学と商工会議所との包括連携協定

沿線地域3大学(浦和大学・人間総合科学大学・目白大学)と市内ものづくり企業の産学連携事業を積極的に行い、高齢化社会における介護・福祉機器を新たに開発することにより、さいたま市東部地域内への企業誘致や新たな産業集積を図る。

### 1)浦和大学「SUQOL(スクール)事業」

介護現場のニーズを集約し、その課題解決により市民のQOL向上を目指して市内ものづくり企業や学生と連携をしながら、ロボット技術等による機器開発や、新たな仕組みづくりに取り組む。

### 2)人間総合科学大学「SHIP(シップ)事業」

義肢装具のニーズを集約しその課題解決に向け、市内ものづくり企業や学生と連携しながら新たな機器開発に取り組む。

### 3)目白大学「SMAP(スマップ)事業」

看護支援を中心とした医療機器等の開発プロジェクト。目白大学の認定看護師教育課程の学生による医療機器等の開発コンテストを実施し、市内ものづくり企業や学生と連携しながら新たな機器開発に取り組む。

## ■地域の連携事例『はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点』(静岡県浜松市)

浜松医科大学を中心に、ものづくり地域「浜松」の特徴を活かした技術力、産業開発力と、医学シーズ・医療ニーズとの融合を促進することにより、新技術の事業化を推進する体制を構築し、健康・医療関連産業の基幹産業化を通じて、地域の活性化を目指している。

### ・産学官連携団



- ・実用化した事例  
「手術用ナビゲーションシステム」



### 【参画機関】

- ・浜松医科大学
- ・株式会社アメリオ (浜松市/3次元形状処理・通信制御ソフト技術)
- ・パルスティック工業株式会社 (浜松市/3Dスキャナ製造技術)
- ・株式会社ゾディアック (浜松市/3D形状生成技術)
- ・株式会社エヌエスティー (浜松市/制御機器製造・コントローラ技術)
- ・永島医科器械株式会社 (東京都/医療機器製造販売)
- ・(財)浜松地域テクノポリス推進機構 (浜松市/支援機関)
- ・JSTイノベーションサテライト静岡 (浜松市/支援機関)

(出典)浜松医科大学ホームページ

## ■産業集積の事例『長浜サイエンスパーク』(滋賀県長浜市)

「新規バイオ産業等拠点の形成」「产学交流拠点の形成」「人材の育成」「自律した産業拠点の形成」という4つの柱をコンセプトに、平成14年に長浜サイエンスパークを整備。バイオテクノロジー関連産業の集積をはかるとともに、ベンチャー企業などのバイオ産業創出システムの構築を図り、研究開発から生産まで行える新規バイオ産業拠点の形成を目指している。

所在地	滋賀県長浜市
地理的条件	名神高速道路米原I.C.から約7km、JR北陸本線田村駅に隣接
開発規模	全体面積: 12.5ha、産業用地面積: 4.6ha
開発事業者	長浜市土地開発公社
立地企業数	6社(分譲3社、賃貸3社) (全区画に企業進出)
中核施設	長浜バイオ大学

研究機関名、企業・事業所名	事業内容
イオンディライトアカデミー(株)	設備管理の研修
マリンフード(株)	健康食品の研究開発・製造
山岡ヤマゼン(株) 本社	物流資材の洗浄・再生
星野科学(株) 長浜工場	食品素材の研究開発・製造
マルホ(株)	医薬品の研究開発・製造
ピアス(株)	医薬品、化粧品等の製造

